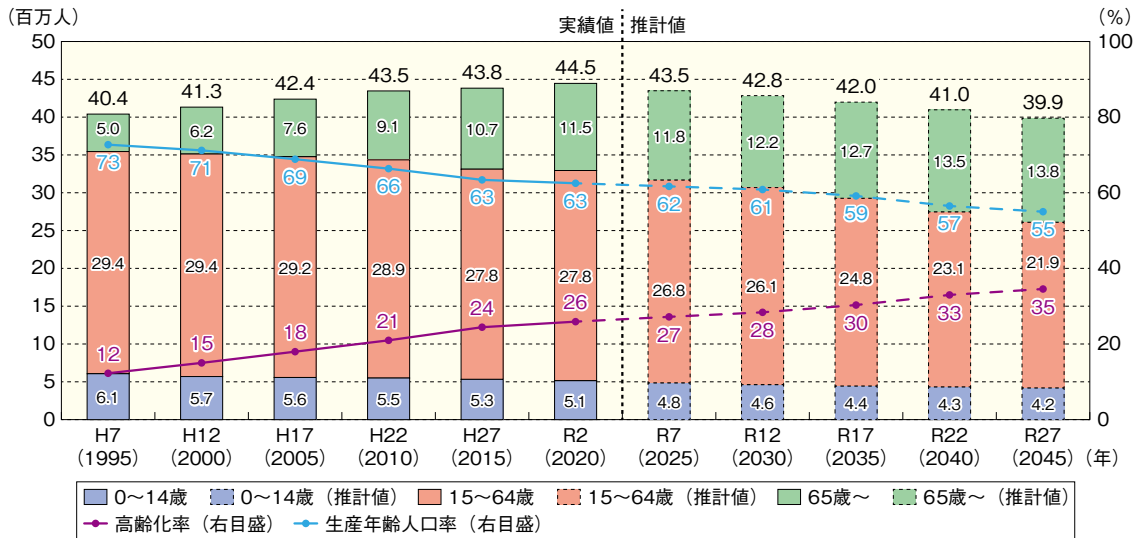


## 資料編

# 首都圏整備に関する各種データ

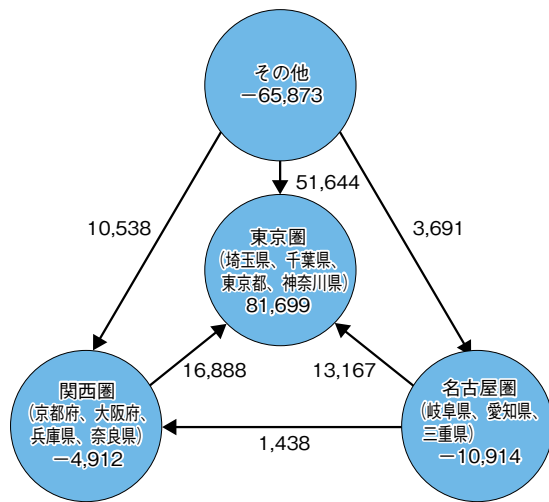
1 人口の状況

1-1 首都圏の将来推計人口の推移



注：H7～H22は「人口推計」、H27及びR2は「国勢調査」、R7～R27は「日本の地域別将来推計人口」による  
 資料：「人口推計」（総務省）、「国勢調査」（不詳補完値による）（総務省）、「日本の地域別将来推計人口」（平成30(2018)年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）を基に国土交通省都市局作成

1-2 大都市圏の人口移動量 (令和3(2021)年)



注：数字は転入者数と転出者数の差(人)を表す。  
 資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）を基に国土交通省都市局作成

1-3 業務核都市等の人口の状況

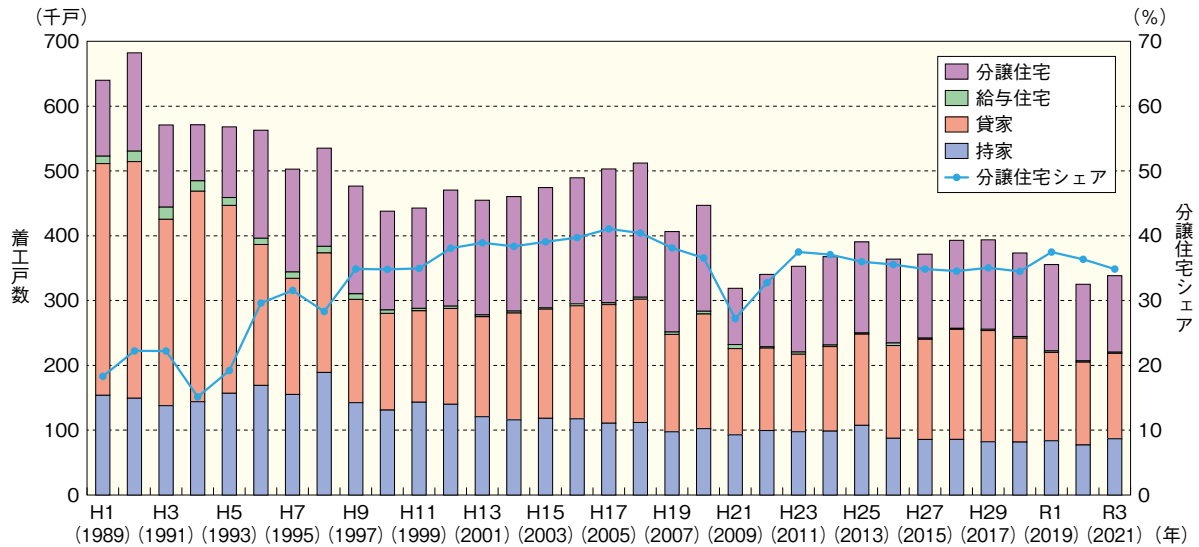
(単位：人)

	平成22年	平成27年	令和2年
全国	128,057,352	127,094,745	126,146,099
首都圏	43,467,160	43,829,961	44,463,415
東京都区部	8,945,695	9,272,740	9,733,276
業務核都市計 <sup>注</sup>	12,917,638	13,101,789	13,333,673
土浦市	143,839	140,804	142,074
牛久市	81,684	84,317	84,651
つくば市	214,590	226,963	241,656
さいたま市	1,222,434	1,263,979	1,324,025
川崎市	342,670	350,745	354,571
熊谷市	203,180	198,742	194,415
春日部市	237,171	232,709	229,792
深谷市	144,618	143,811	141,268
上尾市	223,926	225,196	226,940
越谷市	326,313	337,498	341,621
鶴ヶ島市	69,990	70,255	70,117
日高市	57,473	56,520	54,571
伊奈町	42,494	44,442	44,841
千葉市	961,749	971,882	974,951
木更津市	129,312	134,141	136,166
成田市	128,933	131,190	132,906
習志野市	164,530	167,909	176,197
柏市	404,012	413,954	426,468
君津市	89,168	86,033	82,206
印西市	88,176	92,670	102,609
白井市	60,345	61,674	62,441
富里市	51,087	49,636	49,735
八王子市	580,053	577,513	579,355
立川市	179,668	176,295	183,581
青梅市	139,339	137,381	133,535
町田市	426,987	432,348	431,079
多摩市	147,648	146,631	146,951
横浜市	3,688,773	3,724,844	3,777,491
川崎市	1,425,512	1,475,213	1,538,262
相模原市	717,544	720,780	725,493
厚木市	224,420	225,714	223,705

注：業務核都市に含まれる表中の市を対象とした。市の一部が業務核都市に指定されている場合も、市全域のデータとした。  
 資料：「国勢調査」（総務省）を基に国土交通省都市局作成

## 2 住宅の供給状況

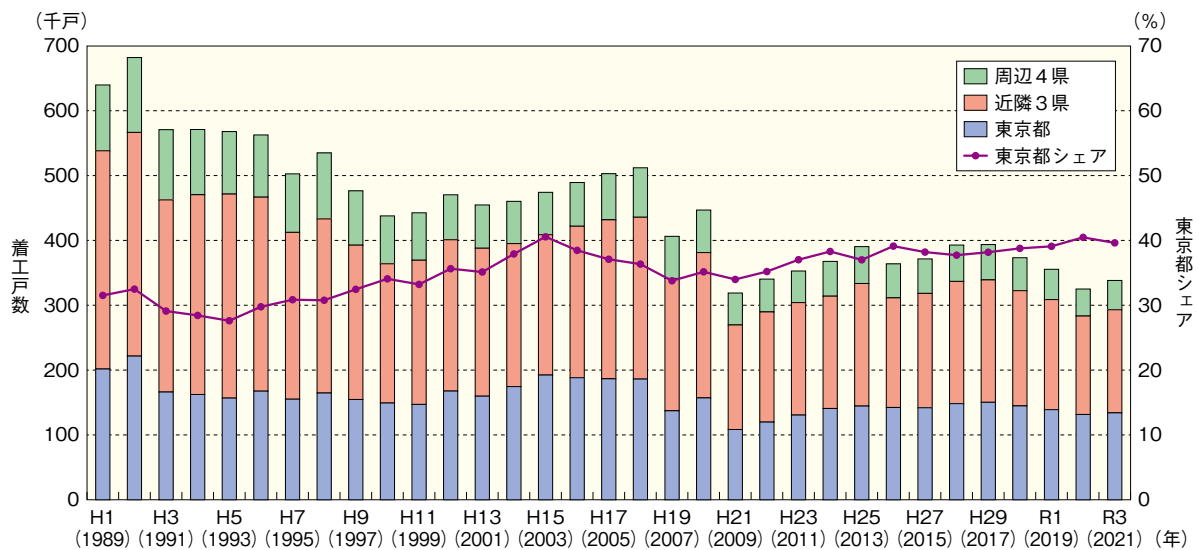
## 2-1 首都圏の利用関係別の新設住宅着工戸数の推移



注：「持家」とは、建築主が自分で居住する目的で建築するものをいう。  
「貸家」とは、建築主が賃貸する目的で建築するものをいう。  
「給与住宅」とは、会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するものをいう。  
「分譲住宅」とは、建売り又は分譲の目的で建築するものをいう。

資料：「住宅着工統計」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成

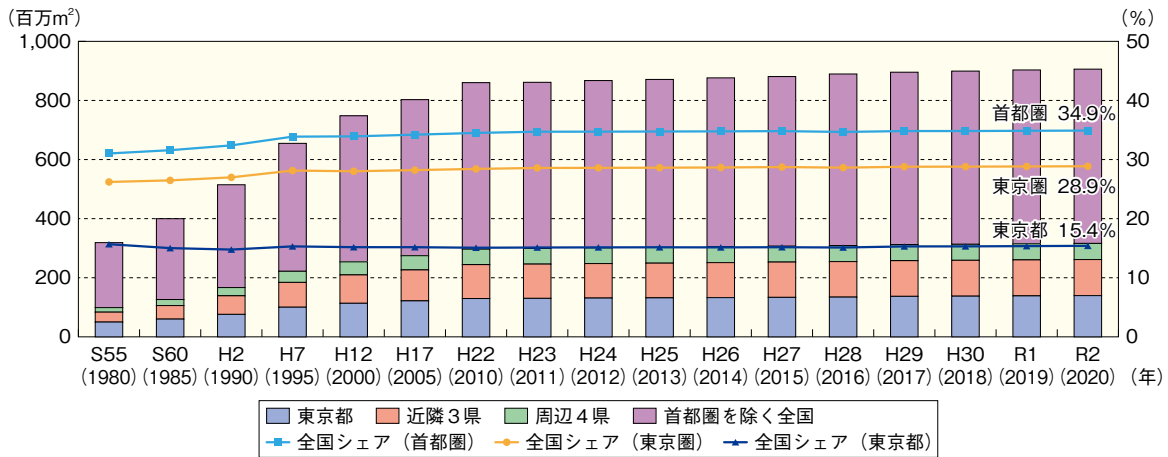
## 2-2 首都圏の地域別の新設住宅着工戸数の推移



資料：「住宅着工統計」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成

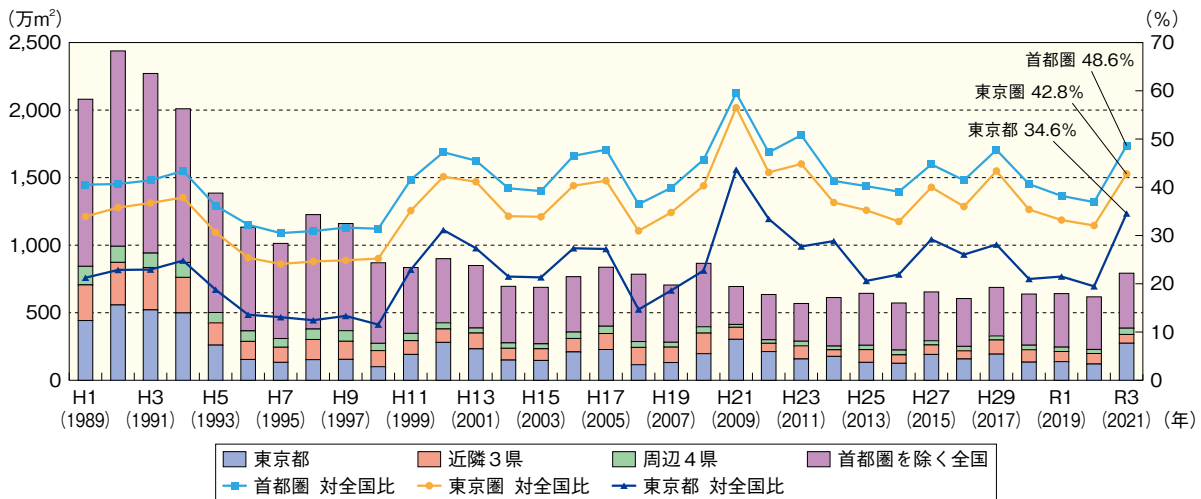
3 産業と教育の状況

3-1 全国・首都圏の事務所・店舗等の床面積の推移



資料：「固定資産の価格等の概要調書」（総務省）を基に国土交通省都市局作成

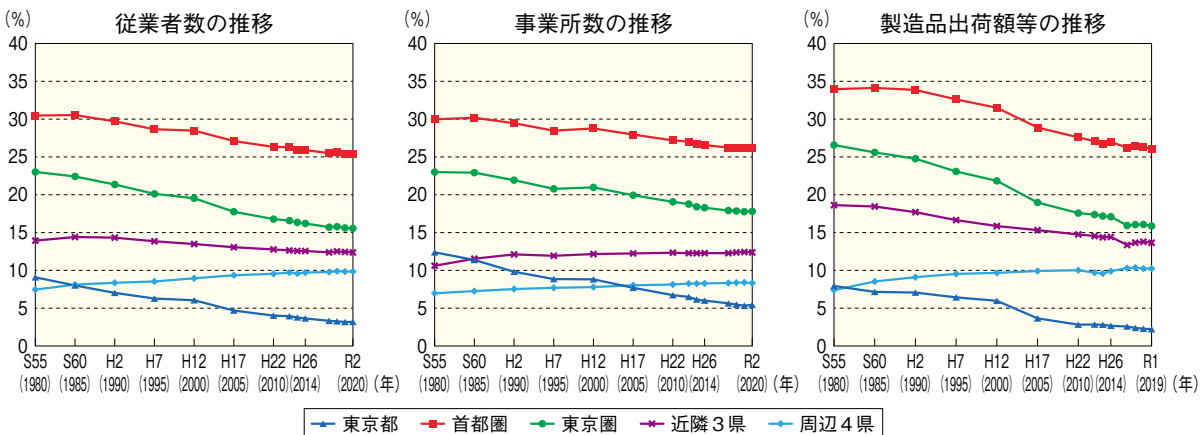
3-2 全国・首都圏の事務所着工床面積の推移



注：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「建築統計年報」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成

3-3 首都圏の製造業の対全国シェアの推移

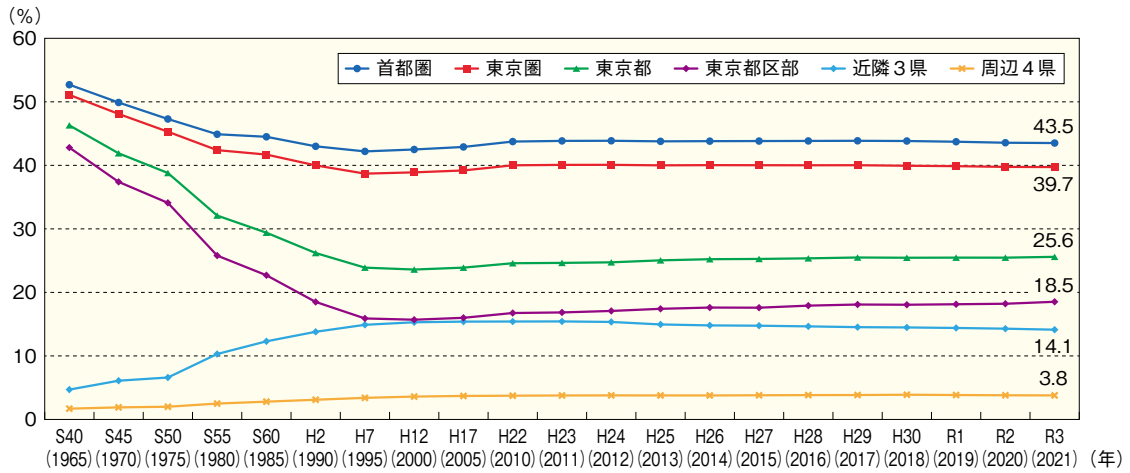


注1：従業員4人以上の事業所が対象

注2：従業員数及び事業所数は平成28(2016)年以降、各年6月1日時点の数値を基に作成

資料：「工業統計表」（経済産業省）を基に国土交通省都市局作成

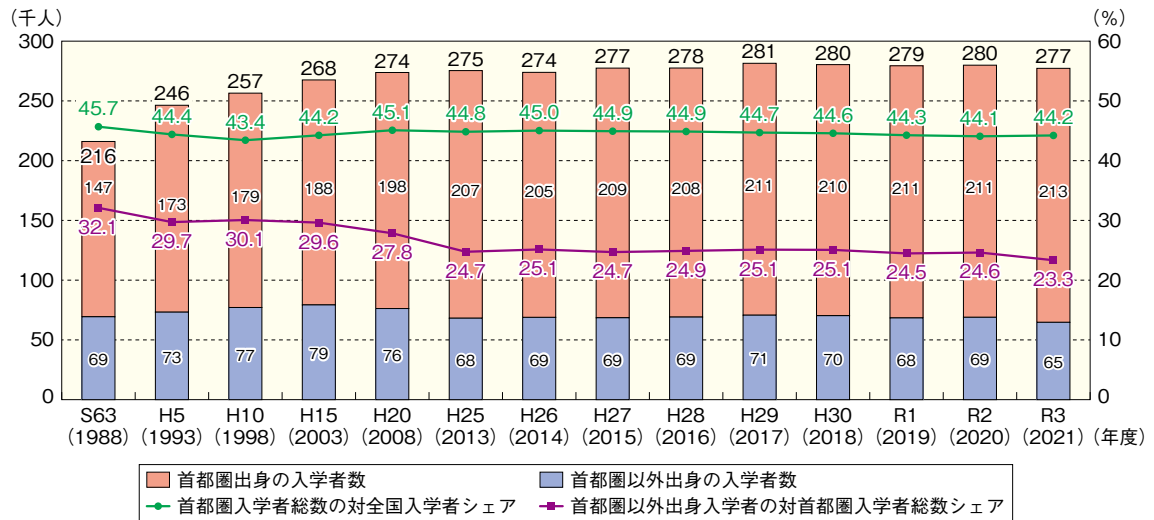
## 3-4 首都圏の大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移（各年5月1日時点）



注：地域区分は、在籍する学部、研究科、学科等の所在地による。

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）を基に国土交通省都市局作成

## 3-5 首都圏の大学への入学者数とその出身者別内訳とシェアの推移

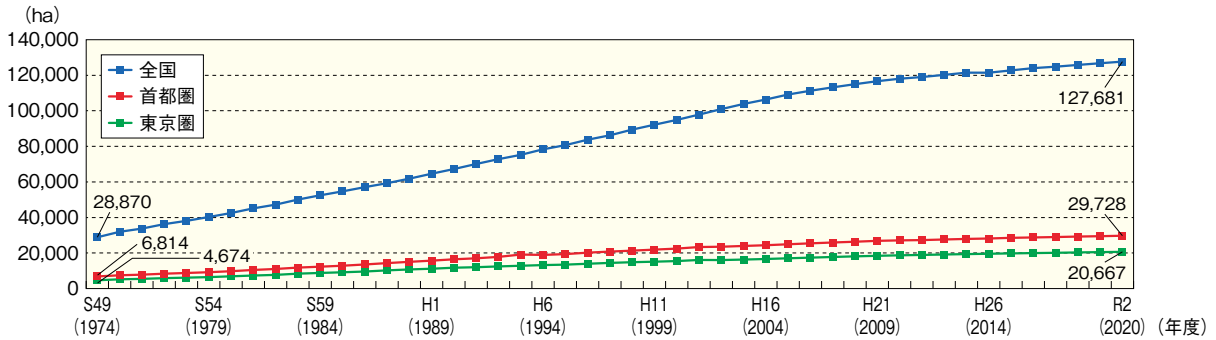


注：入学者数については、表示単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）を基に国土交通省都市局作成

4 環境の状況

4-1 全国・首都圏の都市公園の面積の推移



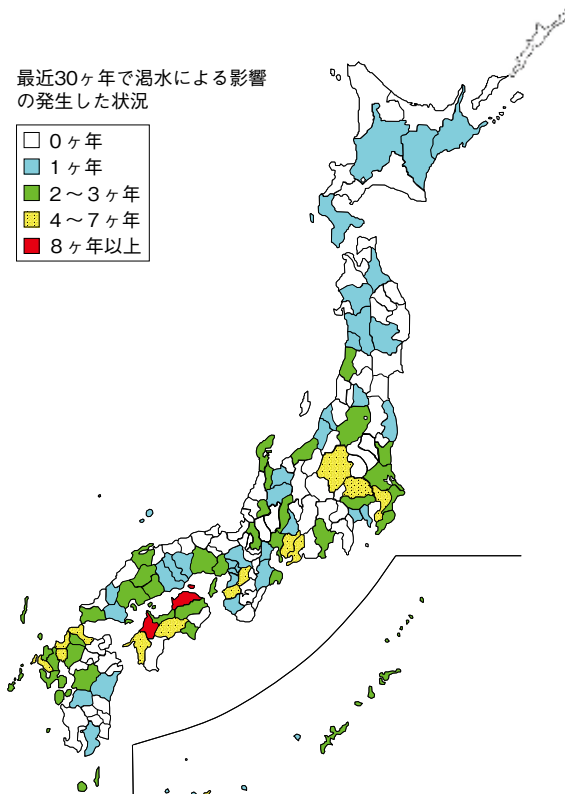
注：各年度3月31日時点の数値  
資料：国土交通省都市局作成

4-2 首都圏の緑地保全関連制度の指定状況

	S61		H5		H12		H19		H26		R2	
	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)
特別緑地保全地区	22	143	47	281	69	358	149	603	263	983	398	1,308
近郊緑地保全区域	18	15,693	18	15,693	18	15,693	19	15,861	19	15,861	19	15,861
近郊緑地特別保全地区	8	653	8	655	9	758	9	759	13	1,049	13	1,056
歴史的風土保存区域	5	956	5	956	5	989	5	989	5	989	5	989
歴史的風土特別保存地区	9	266	13	571	13	571	13	574	13	574	13	574

注：各種制度は、都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法による。  
特別緑地保全地区には近郊緑地特別保全地区を含まない。  
資料：国土交通省都市局作成

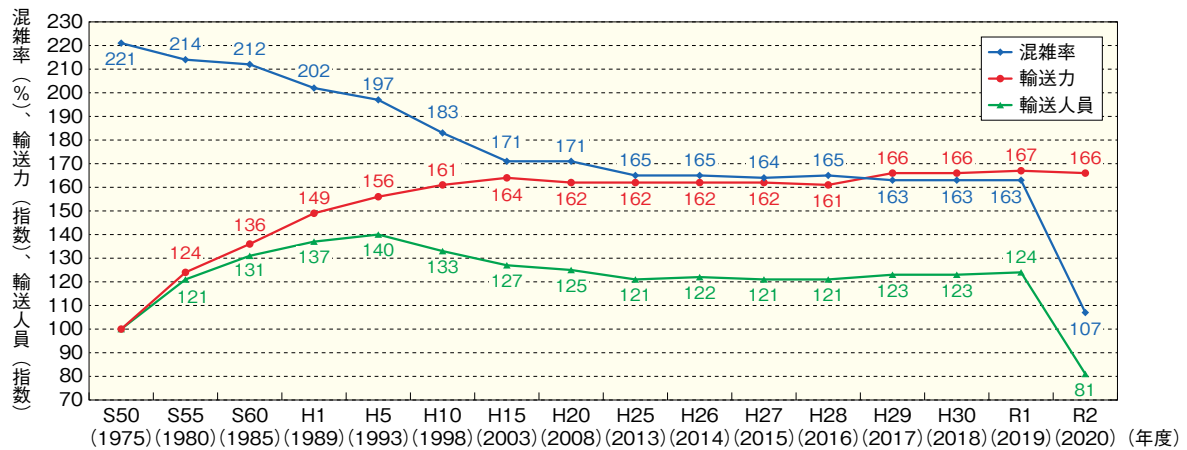
4-3 全国の最近30ヶ年で渇水による影響の発生した状況



注：平成3(1991)年から令和2(2020)年の間で、上水道について減断水のあった年数を図示したものである。  
資料：「令和3年版日本の水資源の現況」(国土交通省)

## 5 交通の状況

## 5-1 東京圏における主要31区間の平均混雑率等の推移



資料：国土交通省

## 5-2 東京圏における主要区間の混雑率 (令和2(2020)年度)

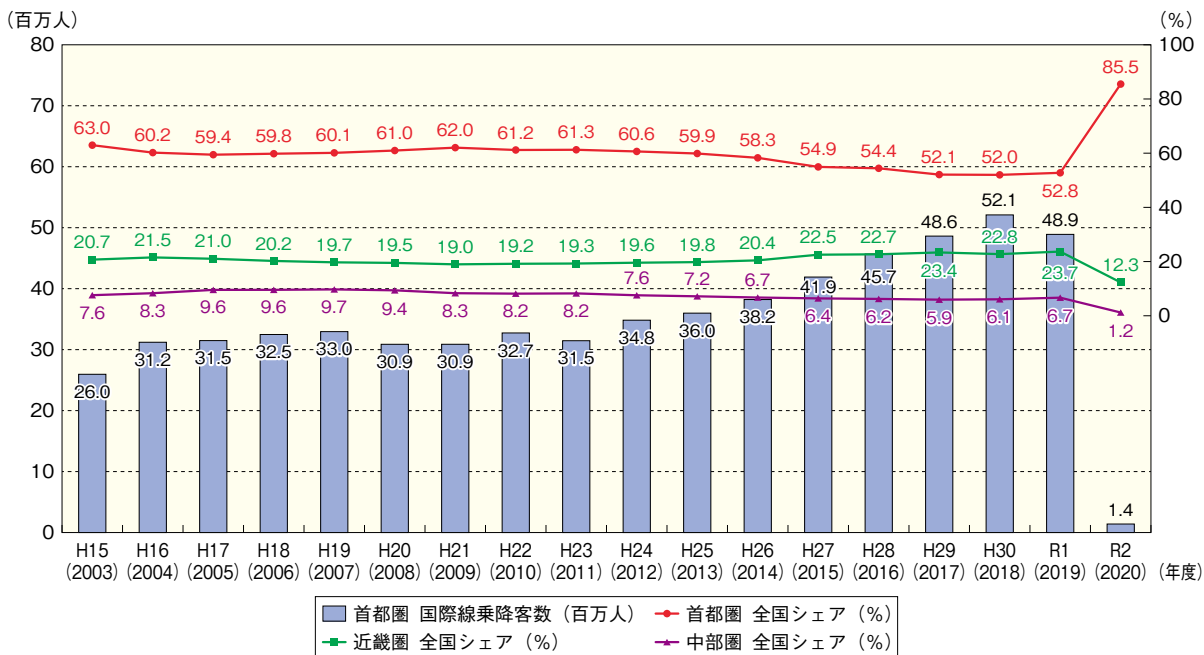
事業者名	線名	区間	時間帯	編成・本数 (両・本)	輸送力 (人)	輸送人員 (人)	混雑率 (%)
東武	伊勢崎	小菅 → 北千住	7:30~8:30	8.1 × 38	41,798	43,527	104
	東上	北池袋 → 池袋	7:40~8:40	10 × 24	33,120	31,035	94
西武	池袋	椎名町 → 池袋	7:27~8:27	9 × 25	31,464	34,340	109
	新宿	下落合 → 高田馬場	7:24~8:24	9.2 × 25	32,020	36,075	113
京成	押上	京成曳舟 → 押上	7:40~8:40	8 × 23	22,264	20,327	91
	本線	大神宮下 → 京成船橋	7:20~8:20	7 × 17	14,520	14,142	97
京王	京王	下高井戸 → 明大前	7:40~8:40	10 × 27	37,520	42,143	112
	井の頭	池ノ上 → 駒場東大前	7:45~8:45	5 × 28	19,600	19,440	99
小田急	小田原	世田谷代田 → 下北沢	7:27~8:27	9.9 × 36	49,646	58,765	118
東急	東横	祐天寺 → 中目黒	7:50~8:50	8.8 × 24	31,650	38,853	123
	田園都市	池尻大橋 → 渋谷	7:50~8:50	10 × 27	40,338	50,990	126
京急	本線	戸部 → 横浜	7:30~8:30	9.5 × 27	32,000	29,201	91
東京都	浅草	本所吾妻橋 → 浅草	7:30~8:30	8 × 24	23,040	23,083	100
	三田	西巢鴨 → 巢鴨	7:40~8:40	6 × 20	16,800	21,726	129
	新宿	西大島 → 住吉	7:40~8:40	9.9 × 17	23,520	27,656	118
東京地下鉄	日比谷	三ノ輪 → 入谷	7:50~8:50	7 × 27	27,945	30,679	110
	銀座	赤坂見附 → 溜池山王	8:00~9:00	6 × 30	18,300	17,915	98
	丸ノ内	新大塚 → 茗荷谷	8:00~9:00	6 × 31	24,552	24,893	101
	東西	木場 → 門前仲町	7:50~8:50	10 × 27	38,448	47,189	123
	有楽町	東池袋 → 護国寺	7:45~8:45	10 × 24	34,176	37,419	109
	千代田	町屋 → 西日暮里	7:45~8:45	10 × 29	44,022	52,078	118
	半蔵門	渋谷 → 表参道	8:00~9:00	10 × 27	38,448	42,491	111
JR東日本	東海道	川崎 → 品川	7:39~8:39	13 × 19	35,036	35,930	103
	横須賀	武蔵小杉 → 西大井	7:26~8:26	13 × 11	20,504	23,980	117
	中央(快速)	中野 → 新宿	7:41~8:41	10 × 30	44,400	51,380	116
	中央(緩行)	代々木 → 千駄ヶ谷	8:01~9:01	10 × 23	34,040	20,570	60
	京浜東北	川口 → 赤羽	7:20~8:20	10 × 25	37,000	43,770	118
	常磐(快速)	松戸 → 北千住	7:18~8:18	14.2 × 19	38,852	35,540	91
	常磐(緩行)	亀有 → 綾瀬	7:19~8:19	10 × 23	32,200	30,080	93
	総武(快速)	新小岩 → 錦糸町	7:34~8:34	13 × 19	35,416	37,100	105
総武(緩行)	錦糸町 → 両国	7:34~8:34	10 × 26	38,480	42,870	111	
31区間の平均混雑率							107

注1：混雑率は最混雑時間帯1時間の平均

注2：主要区間は国土交通省において継続的に混雑率の統計をとっている区間等

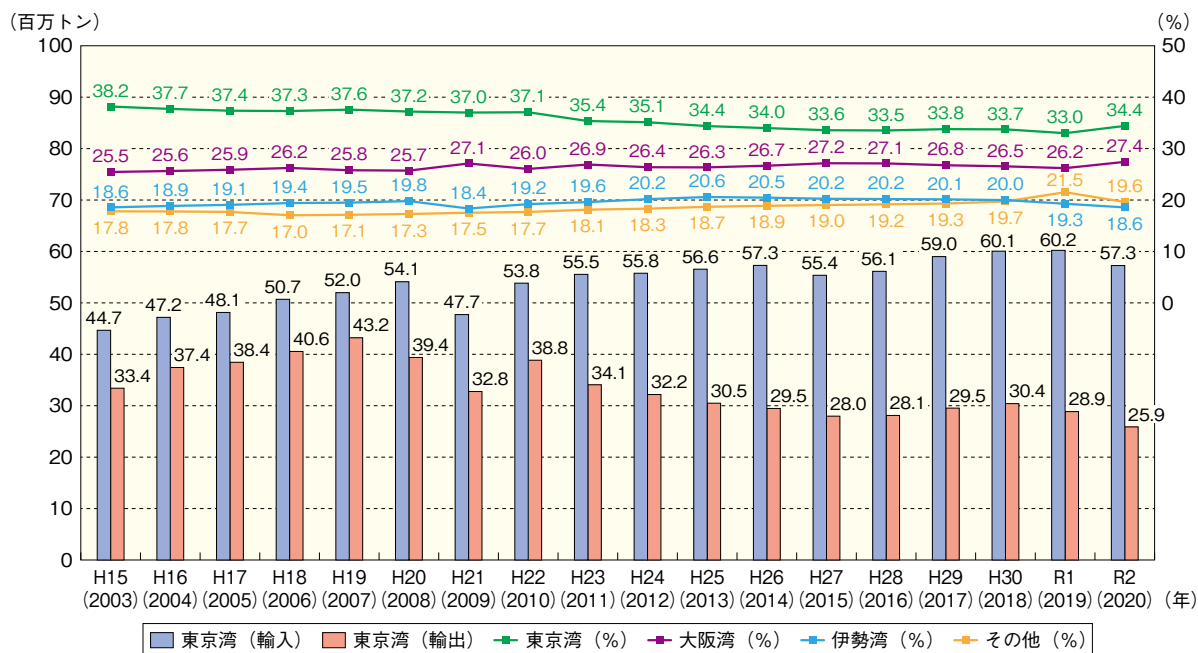
資料：国土交通省

### 5-3 首都圏の空港の国際線利用状況と三大都市圏のシェア



注：首都圏とは成田国際空港及び東京国際空港の合計、中部圏とは中部国際空港及び名古屋空港、近畿圏とは関西国際空港の乗降客数を指す。  
資料：「空港管理状況調査」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成

### 5-4 首都圏の外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア



注1：東京湾とは千葉港、東京港、横浜港、川崎港、横須賀港の、大阪湾とは大阪港、堺泉北港、神戸港の、伊勢湾とは名古屋港、三河港、四日市港のそれぞれの取扱貨物量の合計を指す。

注2：内訳の合計が100%とならないのは、数値の四捨五入の関係による。

資料：「港湾統計（年報）」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成